

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は9点あり、古代(1)、中世(2)、近世(3)、近代(3)の内訳となっている。コラム「歴史にアクセス」という名称で、近世・近代での内容が多い。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は7点あり、古代(1)、中世(1)、近世(3)、近代(1)、現代(1)の内訳となっている。コラム「歴史を探ろう」という名称で、近世の内容が多い。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は18点あり、古代(4)、中世(4)、近世(3)、近代(7)の内訳となっている。「地域史」「環境」「交流」等に分けられている。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は10点あり、古代(3)、中世(4)、近世(1)、近代(2)の内訳となっている。古代・中世の内容が多い。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は11点あり、古代(2)、中世(2)、近世(4)、近代(1)、現代(2)の内訳となっている。近世での内容が多い。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本に影響を与えた文化交流に関するコラムの数は8点あり、古代(4)、近代(3)、現代(1)の内訳となっている。古代の内容が多い。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本に影響を与えた文化交流に関するコラムの数は16点あり、古代(2)、中世(4)、近世(4)、近代(3)、現代(3)の内訳となっている。中世・近世の内容が多い。
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において、見開き2ページにわたり、時代を象徴的に表す写真や絵図を用い、人物や歴史的事象のイラストを用いた年表を掲載し、資料の読み取りやグループでの学習を示している。年表には、小学校時の学習した語句を太字で示すことでつながりをもたせている。また、キャラクターの問いにより各章の学習課題を導くような構成をしている。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第1章 歴史へのとびら」の「2節 身近な地域の歴史」において、調べ学習の「テーマ設定」「調査」「考察」に向けての手順とポイントを示している。 各章の終わりに「地域の歴 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において、1ページを使い、時代を象徴的に表す絵図や写真を掲載し、年表に日本の時代名、中国・朝鮮の王朝名を掲載して、これから学習する時代を示している。また、見開き2ページにわたり、絵図と絵図に関わるキャラクターの問いをもとに学習へ導いている。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第1章 歴史のとらえ方・調べ方」の「2節 身近な地域の歴史を調べよう」において、調べ学習の「テーマを決めよう」「情報を集めよう」「具体的な調査の課題を決めよう」と 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において、特設ページは設定されていない。タイトルの下に学習課題を示している。小単元の導入の際には、「タイムトラベル」という2ページにわたる特設ページを設け、歴史的な事象を示す絵図を示し、前の時代と比べての特色を読み取る学習活動を示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第1章 歴史のとらえ方と調べ方」の「第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」において、「歴史の謎を探る～問いを作ろう～」「資料をよく見てヒントを探してみよう」、 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において、見開き2ページにわたり、年表上に歴史的な事象を示す絵図を並べ、これから学習する内容を日本史と世界史に分けて示している。それとともに、単元全体に関する説明を記載している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第1章 歴史との対話」の「2節 身近な地域を調べよう」において、「テーマを設定しよう!」「さあ調査だ!」「レポートをつくって発表しよう!」とイラストとともに調べ学習 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において、見開き2ページにわたり、時代を象徴的に表す写真や絵図を掲載している。さらに、次の見開き2ページにわたり、年表、イラスト入りの地図を用いて読み取り活動へ導いている。それとともに、単元全体に関する説明を記載している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各章に「でかけよう!地域調べ」を設定し、各時代における事例をもとに、現地調査による調べ学習のポイントを示している。 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において、1ページを使い、「海洋国家・日本の歩み」と称して、船の絵図や写真等を示すことで、歴史的な特色を示している。また、すべての歴史学習の中でどの期間の学習をするのかを年表を用い、キャラクターの問いを記載している。次の見開き2ページにわたり、「歴史絵巻」で、時代順に人物や出来事のイラストを並べている。さらに、見開き2ページにわたり、絵図から事象を読み取る学習活動を示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 序章と第4章に「地域の歴史を調べてみよう」を設定し、それぞれ1つの事例を具体的に調べ学習のポイントを示している。 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において、見開き2ページにわたり、年表スケールや歴史的な事象を示す写真や絵図を掲載している。また、それぞれの歴史的な事象が関連する位置を、掲載した地図で示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「歴史への案内」を設定し、地域の博物館での調べ学習や現地調査における、学習のポイントを示している。

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
	史を調べよう」を設定し、各時代についての調べ学習の例を示している。	6つの例とともに手順とポイントを示している。	「謎解きの答えをまとめよう」と調べ学習の1つの具体的事例を追って手順とポイントを示している。	のポイントを示している。 ・各章に「地域からのアプローチ」を設定し、身近な地域に関する調べ学習の事例を示している。			
内容の構成・配列・分量	<p>1 単元や資料等の配列・分量 総ページ 304、歴史との対話 12、古代 44、中世 36、近世 50、近代 102、現代 32、その他 28</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「アクロポリスとパルテノン神殿」、「古代ローマの支配領域」等の資料を掲載している。 [近代]「イギリスとアメリカの革命」、「フランス革命」というタイトルで、4ページにわたって記載し、「ボストン茶会事件」、「造営中のベルサイユ宮殿」等の資料を掲載している。 [現代]「民主化と日本国憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「日本国憲法前文」、「初めての女性国会議員」等の資料を掲載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 総ページ 310、歴史との対話 15、古代 42、中世 36、近世 50、近代 108、現代 36、その他 23</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「すべての道はローマに通ず」というタイトルで2ページにわたって記載し、「古代ギリシャの勢力範囲」、「古代ローマの水道橋」等の資料を掲載している。 [近代]「代表なくして課税なし」というタイトルで2ページにわたって記載し、「独立当時のアメリカ合衆国」、「人権宣言」等の資料を掲載している。 [現代]「敗戦からの再出発」、「平和国家をめざして」というタイトルで4ページにわたって記載し、「女性の国会議員の誕生」、「日本の憲法の比較」等の資料を掲載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 総ページ 306、歴史との対話 13、古代 44、中世 36、近世 54、近代 108、現代 30、その他 21</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「ギリシャ・ローマの政治と文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「ギリシャの民会の様子」、「ローマ帝国の貨幣」等の資料を掲載している。 [近代]「市民革命の始まり」、「人権思想からフランス革命へ」というタイトルで4ページにわたって記載し、「アメリカ独立宣言の採択」、「フランス人権宣言」等の資料を掲載している。 [現代]「新時代に求められた憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「『あたらしい憲法のはなし』」、「初めての女性国会議員」等の資料を掲載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 総ページ 294、歴史との対話 9、古代 48、中世 40、近世 52、近代 100、現代 30、その他 15</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「地中海文明の発展」というタイトルで2ページにわたって記載し、「重装歩兵」、「ローマ帝国の拡大」等の資料を掲載している。 [近代]「市民革命の時代」というタイトルで4ページにわたって記載し、「独立宣言」、「バスティーユ襲撃」等の資料を掲載している。 [現代]「占領下の日本」、「日本国憲法と民主化」というタイトルで4ページにわたって記載し、「衆議院の女性議員」、「日本国憲法」等の資料を掲載している。</p>	<p>6 単元や資料等の配列・分量 総ページ 328、歴史との対話 8、古代 50、中世 42、近世 52、近代 102、現代 38、その他 36</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「古代のギリシャとローマの動き」、「ローマ帝国の支配圏」等の資料を掲載している。 [近代]「アメリカの独立とフランス革命」というタイトルで2ページにわたって記載し、「独立後に制定されたアメリカの国旗」、「フランスの三つの身分と税の負担に関する風刺画」等の資料を掲載している。 [現代]「占領と改革の始まり」、「平和で民主的な国家をめざして」というタイトルで4ページにわたって記載し、「戦後の主な改革」、「日本国憲法公布の祝賀会」等の資料を掲載している。</p>	<p>6 単元や資料等の配列・分量 総ページ 314、歴史との対話 13、古代 50、中世 34、近世 52、近代 102、現代 33、その他 30</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「ギリシャとローマの文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「アテネ民会議場の演壇」、「ローマ帝国の領域」等の資料を掲載している。 [近代]「市民革命と近代社会の成立」というタイトルで2ページにわたって記載し、「アメリカ独立宣言」、「バスティーユ牢獄に攻め寄るパリ市民」等の資料を掲載している。 [現代]「占領下の日本と日本国憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「初めての女性国会議員」、「戦後の諸改革」等の資料を掲載している。</p>	<p>6 単元や資料等の配列・分量 総ページ 306、歴史との対話 6、古代 44、中世 32、近世 50、近代 110、現代 36、その他 28</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「円形競技場の熱狂」というタイトルで2ページにわたって記載し、「紀元前5世紀ごろのギリシアとペルシア」、「ローマ帝国の広がり」等の資料を掲載している。 [近代]「アメリカの大地に生きる」、「バスチーユを攻撃せよ」というタイトルで4ページにわたって記載し、「ボストン港でのイギリスへの抗議行動」、「ベルサイユ宮殿へ向かう民衆」等の資料を掲載している。 [現代]「焼け跡からの出発」、「もう戦争はしない」というタイトルで4ページにわたって記載し、「街頭演説をする山口シヅエ」、「『あたらしい憲法のはなし』」等の資料を掲載している。</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
内容の 表現・表記	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(133)・絵図(85)・地図(33)・図表・グラフ(27)・文書資料(44)・年表(5)・人物(56)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 フォントユニバーサルデザインフォントを使用し、ふり仮名の文字濃度を薄くしている。 グラフ円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 レイアウト本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の部分の色分けしている。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(123)・絵図(86)・地図(28)・図表・グラフ(32)・文書資料(21)・年表(7)・人物(51)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 フォントユニバーサルデザインフォントを使用している。 グラフ円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 レイアウト本文ページ見開きのレイアウトを統一している。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(136)・絵図(85)・地図(40)・図表・グラフ(38)・文書資料(2)・年表(4)・人物(53)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 フォントユニバーサルデザインフォントを使用している。 グラフ帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 レイアウト本文ページのレイアウトを統一している。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(151)・絵図(86)・地図(35)・図表・グラフ(37)・文書資料(19)・年表(3)・人物(49)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 フォントユニバーサルデザインフォントを使用している。 グラフ円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 レイアウト本文ページのレイアウトを統一している。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(105)・絵図(78)・地図(35)・図表・グラフ(37)・文書資料(31)・年表(38)・人物(49)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 フォントユニバーサルデザインフォントを使用している。 グラフ円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 レイアウト本文ページのレイアウトを統一している。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(89)・絵図(74)・地図(34)・図表・グラフ(36)・文書資料(17)・年表(10)・人物(77)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 フォントふりがなにゴシック体を用いて、小さな文字が読みやすいようにしている。 グラフ円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切りを入れている。 レイアウト本文ページ見開きのレイアウトを統一している。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(155)・絵図(72)・地図(33)・図表・グラフ(22)・文書資料(1)・年表(1)・人物(38)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 グラフ円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 レイアウト本文ページは、見開き2ページで学習内容をまとめている。</p>
	言語活動の 充実	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 「中世とはどのような特色を持つ時代だったでしょうか」という問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。 ア. 「政治」「国際関係」「社会・経済」「文化」の四つの視点を示している。 イ. 文章にまとめる前に、思考ツールに考えをま</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 「中世がどのような時代だったかを表現し、その理由を説明しよう。」という問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。 ア. 文章でまとめる前に、古代と中世を比較した表を、「政治」「外国との関係」「文化」の視点でまとめる学習活動を</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 「この時代はどのような時代だったかを、自分の言葉で説明してみよう。」という問いに対して、自分が重視した歴史的な見方・考え方を明らかにし、2つの学習活動を通じて文章にまとめる。 ア. 身分や職業について、「タテ(支配)とヨコ(対</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 4つの立場(人)を示し、それぞれの立場で問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。 ア. 「武士」「農民」「守護」「荘園領主」の4つの立場を設定している。 イ. 自分の考えは、「鎌倉時代」から「戦国時代」の4つに時代区分のそ</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 「中世に定められた主な『法』に着目し、古代と比較しながら、中世の特色を考えていきましょう。」という問いに対して、自分の考えを3つのステップでまとめる。 ア. 「古代と中世の主な法にどのような特色があるのでしょうか。」とい</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 「この時代はどのような時代だったといえるのか」といった問いに対して、自分の考えを文章にまとめ、クラスで話合うために5つの活動を設定している。 ア. 年表の空欄に当てはまる言葉を選ぶ。 イ. 戦いについての整理をする。</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
	<p>とめるように促している。</p> <p>ウ. 意見交換や、自分の考えの修正の方法を示している。</p>	<p>設定している。</p>	<p>等) の関係図を作ってみよう。」という問いに対して、図で自分の考えをまとめる。</p> <p>イ. 「なぜ、『武士』と『庶民』はそれぞれの結び付きを強めていったのか」等の問いに対して、話し合いをする。</p>	<p>れぞれでまとめる。</p>	<p>う問いに対して、教科書の表の空欄に記入する。</p> <p>イ. 「なぜ、これらの法はつくられたのでしょうか。」という問いに対して、教科書の表の空欄に記入する。</p> <p>ウ. 中世の特色を、文章にまとめる。</p>	<p>ウ. この時代で最も重要だと思う人物を選び、理由をまとめる。</p> <p>エ. 歴史的事象に当てはまる場所を地図上から選ぶ。</p> <p>オ. 暮らしや社会の様子について、資料や前の時代の様子を参考にして説明する。</p>	